



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場会社名 株式会社白洋舎 上場取引所 東
 コード番号 9731 URL http://www.hakuyosha.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)五十嵐 素一
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)丹羽 義己 (TEL)03(3460)1111
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 平成25年9月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	22,569	0.7	917	38.7	981	45.5	805	199.4
24年12月期第2四半期	22,409	6.1	661	493.1	674	—	268	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 1,125百万円(138.2%) 24年12月期第2四半期 472百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年12月期第2四半期	円 銭 21 02	円 銭 —
24年12月期第2四半期	円 銭 7 02	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年12月期第2四半期	百万円 31,389	百万円 6,965	% 20.6
24年12月期	百万円 29,629	百万円 5,938	% 18.5

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 6,476百万円 24年12月期 5,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年12月期	円 銭 —	円 銭 2 50	円 銭 —	円 銭 2 50	円 銭 5 00
25年12月期	円 銭 —	円 銭 2 50	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
25年12月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 2 50	円 銭 5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日~平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 44,500	% 0.2	百万円 800	% 9.4	百万円 850	% 4.5	百万円 480	% 13.1	円 銭 12 53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年12月期 2 Q	39,000,000株	24年12月期	39,000,000株
25年12月期 2 Q	688,747株	24年12月期	683,439株
25年12月期 2 Q	38,314,430株	24年12月期 2 Q	38,321,745株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業的前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日～6月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等を受け、景気回復に向けた明るい兆しが見られたほか、株高による資産効果を背景として、個人の消費マインドに改善の動きも見られました。

こうしたなか、当社グループでは、お客さま満足をすべての価値の中心とする「顧客中心経営」のもと、お客さまニーズに基づくサービスメニューの拡充を図るとともに、新規店舗の開設、異業種企業との提携強化など、お客さまとの接点拡大に努めてまいりました。

こうした取組みの結果、当社グループ売上高は225億6千9百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益は9億1千7百万円（前年同四半期比38.7%増）、経常利益は9億8千1百万円（前年同四半期比45.5%増）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

<クリーニング>

個人向けのクリーニング事業は、中長期的に需要が減少する傾向にありますが、「新規のお客さまを増やす・継続してご利用いただく・より多くご利用いただく」ことを目的として、百貨店等への出店を強化するとともに、アパレルメーカーなど異業種・他企業との連携・提携を推進し、お客さまとの接点拡大を図りました。

また、新たな取組みとしては、高級素材品や毛皮・皮革製品等を対象とした「プレミアム保管」、及びブーツ3足のクリーニングと保管をセットにし宅配便でお取扱いする「おまかせブーツパック」の受け付けを開始いたしました。

クリーニング事業の売上は、天候の影響を受けやすく、春の訪れが早かった3月には、冬物衣料の衣替えが加速し大幅な伸びを示したものの、4月中旬から5月上旬にかけては、天候不順が続き低調に推移しました。しかしながら、5月中旬以降、気温の上昇とともに衣替え需要が持ち直したことから、売上高は119億7千7百万円（前年同四半期比2.6%増）、セグメント利益（営業利益）は8億6千5百万円（前年同四半期比31.6%増）となりました。

<レンタル>

レンタル事業は、ホテル・レストラン等向けのリネンサプライ部門と工場等の事業所向けのユニフォームレンタル部門に大別されます。

リネンサプライ部門は、電気・ガス料金の上昇が生産コストを圧迫いたしました。外国人観光客の増加等により、都心部を中心としてホテル稼働に回復傾向が見られたことから、堅調に推移いたしました。

また、ユニフォームレンタル部門は、一部の既存顧客でクリーニング取扱い数量が減少いたしました。が、昨年新規獲得した食品関連企業のユニフォームの取扱い数量の増加に加え、コンビニエンスストア等の底堅い需要に支えられました。

これらの結果、売上高は88億1千3百万円（前年同四半期比2.6%増）、セグメント利益（営業利益）は5億4千3百万円（前年同四半期比16.8%増）となりました。

尚、6月には、ユニフォームレンタル西部事業所明石工場において、ISO22000（食品安全マネジメン

トシステム) 認証を取得いたしました。一昨年のユニフォームレンタル東部事業所に続く取得となりますが、今後はISO認証取得により強化されたユニフォームの衛生品質を関西地区の食品メーカー等にも訴求し、新規顧客の獲得に繋げていく考えであります。

<不動産>

不動産事業では、不動産の賃貸および管理・仲介を行っております。売上高は3億9千4百万円(前年同四半期比4.2%増)、セグメント利益(営業利益)は1億7千8百万円(前年同四半期比10.9%増)となりました。

<その他>

その他事業のうち、事業所及び家庭用モップ・マット等を供給するケミサプライ部門においては、レンタル事業とのクロスセリングの強化、配送ルートの見直し、レンタルアイテムの集約等により収益性の改善を図りましたが、同業他社との競争環境が厳しく、売上高の減少には歯止めはかかりませんでした。加えて、連結子会社でのユニフォーム販売についても、前年同四半期比減少したことから、売上高は27億8千6百万円(前年同四半期比1.2%減)、セグメント利益(営業利益)は7千5百万円(前年同四半期比10.1%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ17億5千9百万円増加し、313億8千9百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加3億5千8百万円等により、6億9千1百万円増加し、108億8千3百万円となりました。

固定資産は、土地の増加10億9千2百万円等により10億6千7百万円増加し、205億6百万円となりました。

また、流動負債は、短期借入金の減少7億5千1百万円等により2億4千万円減少し、111億4千9百万円となりました。

固定負債は長期借入金の増加8億9千2百万円等により9億7千2百万円増加し、132億7千4百万円となりました。

純資産は利益剰余金の増加7億8百万円等により10億2千6百万円増加し69億6千5百万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末の18.5%から20.6%へ増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益14億2千6百万円等により10億4千8百万円の収入(前年同四半期比24.4%減)となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出13億9千4百万円、投資有価証券の売却による収入9億5千1百万円等により4億3千9百万円の支出(前年同四半期比29.6%増)となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入れによる収入143億6千万円、長短借入金の返済による支出142億6千6百万円等により2億7千1百万円の支出(前年同四半期比76.6%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ3億6千万円増加し11億6千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想につきましては、資材費及び光熱費上昇等の懸念材料もあり、平成25年2月18日に発表いたしました平成25年12月期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	825	1,184
受取手形及び売掛金	3,829	4,069
たな卸資産	4,618	4,617
繰延税金資産	354	197
その他	579	835
貸倒引当金	△16	△20
流動資産合計	10,191	10,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,199	18,321
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,666	△12,855
建物及び構築物(純額)	5,532	5,465
機械装置及び運搬具	7,785	7,889
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,965	△6,823
機械装置及び運搬具(純額)	819	1,066
土地	5,963	7,055
その他	3,237	3,383
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,075	△2,147
その他(純額)	1,161	1,236
有形固定資産合計	13,477	14,824
無形固定資産	318	286
投資その他の資産		
投資有価証券	2,565	2,389
差入保証金	1,818	1,802
繰延税金資産	1,257	1,207
その他	96	97
貸倒引当金	△95	△102
投資その他の資産合計	5,641	5,395
固定資産合計	19,438	20,506
資産合計	29,629	31,389

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,746	2,952
短期借入金	3,731	2,980
1年内返済予定の長期借入金	1,964	1,947
1年内償還予定の社債	60	60
未払法人税等	253	556
賞与引当金	187	209
その他の引当金	20	21
その他	2,426	2,421
流動負債合計	11,389	11,149
固定負債		
社債	160	130
長期借入金	6,215	7,108
退職給付引当金	2,698	2,807
役員退職慰労引当金	236	191
環境対策引当金	36	36
資産除去債務	198	210
その他	2,757	2,790
固定負債合計	12,301	13,274
負債合計	23,691	24,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	1,496	1,496
利益剰余金	1,808	2,516
自己株式	△230	△231
株主資本合計	5,484	6,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214	446
為替換算調整勘定	△217	△161
その他の包括利益累計額合計	△3	284
少数株主持分	456	489
純資産合計	5,938	6,965
負債純資産合計	29,629	31,389

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	22,409	22,569
売上原価	19,123	19,010
売上総利益	3,285	3,559
販売費及び一般管理費	2,624	2,642
営業利益	661	917
営業外収益		
受取配当金	26	27
為替差益	37	109
受取補償金	30	33
その他	71	81
営業外収益合計	166	251
営業外費用		
支払利息	125	123
持分法による投資損失	16	35
シンジケートローン手数料	1	1
その他	9	27
営業外費用合計	152	187
経常利益	674	981
特別利益		
投資有価証券売却益	1	454
負ののれん発生益	2	—
特別利益合計	4	454
特別損失		
固定資産処分損	13	8
投資有価証券評価損	45	—
災害による損失	5	—
特別損失合計	63	8
税金等調整前四半期純利益	615	1,426
法人税、住民税及び事業税	112	473
法人税等調整額	215	112
法人税等合計	328	586
少数株主損益調整前四半期純利益	286	840
少数株主利益	17	35
四半期純利益	268	805

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	286	840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	184	215
為替換算調整勘定	8	44
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	24
その他の包括利益合計	185	284
四半期包括利益	472	1,125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	449	1,093
少数株主に係る四半期包括利益	23	32

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	615	1,426
減価償却費	493	478
のれん償却額	0	—
負ののれん発生益	△2	—
有形固定資産除却損	9	6
有形固定資産売却損益(△は益)	1	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	28	22
退職給付引当金の増減額(△は減少)	178	108
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△20	△44
災害損失	5	—
受取利息及び受取配当金	△28	△27
支払利息	125	123
為替差損益(△は益)	△37	△109
持分法による投資損益(△は益)	16	35
投資有価証券評価損益(△は益)	45	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	△454
売上債権の増減額(△は増加)	△365	△225
たな卸資産の増減額(△は増加)	△104	58
仕入債務の増減額(△は減少)	511	202
未払消費税等の増減額(△は減少)	26	11
その他	80	△267
小計	1,576	1,354
利息及び配当金の受取額	32	34
利息の支払額	△128	△121
災害損失の支払額	△13	—
法人税等の還付額	58	26
法人税等の支払額	△138	△244
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,387	1,048
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△321	△1,394
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△69	△23
投資有価証券の取得による支出	△2	△23
投資有価証券の売却による収入	7	951
短期貸付金の回収による収入	30	35
子会社株式の取得による支出	△23	—
その他	37	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△339	△439

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,195	12,460
短期借入金の返済による支出	△7,684	△13,211
長期借入れによる収入	2,280	1,900
長期借入金の返済による支出	△1,842	△1,055
社債の発行による収入	200	—
社債の償還による支出	△15	△30
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△192	△237
配当金の支払額	△97	△97
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,156	△271
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△103	360
現金及び現金同等物の期首残高	827	805
現金及び現金同等物の四半期末残高	723	1,165

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリー ニング	レンタル	不動産	計				
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
売上高	11,670	8,592	378	20,641	2,820	23,461	△1,052	22,409
セグメント利益	657	465	161	1,284	83	1,368	△706	661

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△706百万円には、セグメント間消去51百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△758百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリー ニング	レンタル	不動産	計				
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
売上高	11,977	8,813	394	21,185	2,786	23,972	△1,402	22,569
セグメント利益	865	543	178	1,587	75	1,663	△745	917

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△745百万円には、セグメント間消去△26百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△719百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。